



ガッテン!! プリント 「読み解く力」編

自分なりに解決し、知識を再構築する

名前	六年
	組
	番

次の文章は、「日本語の歴史について」という本の一部です。文章を読んで、後の問いに答えましょう。

日本語には色々な文字があります。ひらがなやカタカナ、そして漢字と三種類も文字があります。一つの言語の中に複数の文字があるのは、世界の中でも非常にめずらしいことです。では、みなさんが日常生活の中で使っている日本語の文字が、どのようにできたか知っていますか。

何千年も昔の日本には、会話で使う話し言葉はあったのですが、それを書き表す文字はまだありませんでした。しかし、**文字がないと多くの不便があります**。そこで、中国から伝わった漢字を利用する方法を考えました。一七〇〇年以上前のことです。しかし、漢字は外国の言葉のための文字だったので、日本で話されていた言葉に合わせて使えるように工夫をする必要がありました。

その工夫のひとつに、訓読みの作成があります。今使われている漢字には音読みと訓読みがありますが、実は、音読みが中国で使われていた読み方で、訓読みが日本で話されていた言葉に合わせて日本人が作った読み方なのです。

また、他にも工夫をしました。それは万葉仮名の作成です。万葉仮名とは、漢字のもつ意味とは関係なく、漢字の音だけ使って日本語を表現する方法です。例えば、「はる」という言葉を表すために、「は」と発音する「波」と「る」と発音する「留」を用いて、「波留」と表現していました。つまり当て字のようなものです。このように、日本に漢字が持ち込まれても、今の日本で使われているように簡単に使えたわけではなかったのです。

一 日本で漢字を使うための「工夫」とは何ですか。文章中から二つ書きぬきなさい。

訓読みの作成

万葉仮名の作成

二 文章中に「**文字がないと多くの不便なことがあります**」とありますが、あなたはどんなときに不便だと思いますか。次の**条件**にしたがって書きなさい。

条件

文字がないと不便だと思うときと、その理由を書くこと。

私は、文字がないと勉強するときに不便だと思います。なぜなら、先生が黒板に書いて説明したり、ノートをとって記録したりすることができないからです。